

平成27年度日本小児外科学会評議員会議事録

日 時：平成27年5月27日（木）14：30～17：30

場 所：神戸国際会議場 第1会場

出席者：開会時、出席者数 263名

委任出席者数 22名 計285名

定刻通り仁尾正記理事長が開会宣言を行なった。定款第30条に定められた成立定足数156名（評議員311名の過半数）を充たしており、本評議員会の成立が確認された。尚、名誉会員4名、特別会員9名のご出席をいただいていることが報告された。

続いて注意事項として、2年連続して評議員会に欠席すると次期評議員選挙の被選挙権を有しない旨の説明があり、閉会・退席時に出席票を提出するよう指示があった。

議長の選出：定款第29条により、前田貢作会長が議長に選出された。

議事録署名人の選出：議長により、田尻達郎（京都府立医科大学小児外科）、内田広夫（名古屋大学小児外科）両評議員が選出され、承認された。

次に議長より、追加議事案件の文書提出の締切時刻を14時45分との説明があった。

また、次期副会長および施設認定委員会委員・専門医認定委員会委員への立候補について、定款施行細則により定められた期日までに届出のあった候補者名が手許資料として配布してあること、既に締切日を過ぎているので本評議員会会場で立候補はできないことが説明された。

続いて、菱木知郎庶務委員長より、平成26年度物故会員8名（松村光芳先生、横山 隆先生、諏訪智英先生、平井慶徳先生、生駒文彦先生、三杉和章先生、小林孝明先生、住友健三先生）の報告があり、全員で黙祷をささげた。

議 事

1. 名誉会員、特別会員推戴に関する件

仁尾理事長より、定款第6条に基づき、窪田昭男先生を名誉会員に、石田和夫先生、西島栄治先生、連 利博先生、渡邊芳夫先生の4名を特別会員に推戴したい旨の発言があり、続いて、推戴理由として各候補者の略歴および本学会への功績についての説明があり、承認された。

2. 役員・専門医制度委員選任の件

議長より、定款施行細則第6条により、選挙管理委員として、家入里志評議員、中原さおり評議員の2名が指名され、家入里志評議員が選挙管理委員長を務めることとなった。

続いて議長より、定款施行細則第8条により、理事、監事候補者、会長、副会長の順に選出を行うことが宣言された。

1) 次期理事の選任

(1) 候補者名 (50音順)

新任立候補者

奥山宏臣 (大阪大学小児外科)
金森 豊 (国立成育医療研究センター小児外科)
越永従道 (日本大学小児外科)
広部誠一 (東京都立小児総合医療センター小児外科)
檜山英三 (広島大学小児外科)
山高篤行 (順天堂大学小児外科)

重任候補者

黒田達夫 (慶應義塾大学外科)
漆原直人 (静岡県立こども病院小児外科)
八木 實 (久留米大学小児外科)
米倉竹夫 (近畿大学附属奈良病院小児外科)

以上6名の新任立候補者および4名の重任候補者があった旨、議長から報告があり、続いて各立候補者から所信演説があった。

(2) 投票方法

議長より、定款施行細則第9条により、2名以内の連記・無記名で投票を行うことが告げられ、あわせて投票方法についての新しい投票用紙であることも含め説明、諸注意があった。

また、この間に定められた時刻を超過したため、議長は文書による追加議事案件提出の締切を宣言した。なお、追加議事案件の提出はなかった。

(3) 開票結果

家入選挙管理委員長より報告があった。

有効投票者数284名、無効投票者数2名、

有効投票数538票

越永従道	139票	奥山宏臣	123票
山高篤行	121票	広部誠一	68票
檜山英三	44票	金森 豊	43票

以上により、上位4名の新任理事が選出され承認された。(次点 檜山英三)

2) 次期監事候補者の選任

立候補者名 (50音順)

上野 滋 (東海大学小児外科)
濱田吉則 (関西医科大学小児外科)
前田貢作 (兵庫県立こども病院小児外科)

以上3名の立候補者があった旨議長から報告があった。

続いて、定款第13条により、立候補者が3名以内の場合は選挙が行われないため、立候補者3名がそのまま監事として総会に推薦されるとの宣言があった。

3) 次期会長の選任

議長より、田口智章現副会長が次期会長に就任することが提案され、承認された。

4) 次期副会長の選任

議長より、次期副会長の選出を行うとの宣言があり、定められた期日までに届出のあった立候補者は、以下の1名であったとの報告があった。

立候補者名：仁尾正記（東北大学小児外科）

議長より、立候補者が1名のため無投票で仁尾正記評議員が次期副会長に選出される、との宣言があり、承認された。なお議長より、次期副会長は次々期会長となるべき役職であることが申し添えられた。

以上により、平成27年度役員として以下のメンバーが選出され、承認された。

理事長	黒田達夫
副理事長	越永従道
会長	田口智章
副会長	仁尾正記
理事	八木 實
理事	漆原直人
理事	米倉竹夫
理事	奥山宏臣
理事	山高篤行
理事	広部誠一
監事	上野 滋
監事	濱田吉則
監事	前田貢作

3. 2014（平成26）年度庶務報告に関する件

菱木庶務委員長より、会員動向について以下の報告があり、承認された。

正会員2,181名（新入会：104名、退会：61名、資格喪失：55名）、名誉会員53名（国内：45名、海外：8名）、特別会員66名（国内：65名、海外：1名）

4. 2014（平成26）年度事業報告承認の件

各種委員会担当理事または委員長より、以下のように報告があり承認された。

(1) 機関誌委員会（北川博昭担当理事）

北川担当理事より以下の報告があった。

- 1) 機関誌投稿論文の状況について
- 2) 論文へのアクセス状況
- 3) 第50巻優秀論文候補の選定について
- 4) PSI Japanese Issue 投稿論文について
- 5) その他

(2) 国際・広報委員会（仁尾正記担当理事）

仁尾担当理事より以下の報告があった。

- 1) 学会公式ホームページ刷新について
- 2) WOFAPS 報告
- 3) 国際協力の広場について
- 4) International Session について
- 5) 途上国支援について
- 6) 禁煙宣言について

(3) 保険診療委員会（窪田正幸担当理事）

窪田担当理事より以下の報告があった。

- 1) 平成28年度医科診療報酬改定について
- 2) 外科系学会社会保険委員会連合（外保連）に関する活動について

(4) 教育委員会（松藤 凡担当理事）

松藤担当理事より以下の報告があった。

- 1) 卒後教育セミナーについて
- 2) 内視鏡手術セミナーについて
- 3) 用語委員会について
- 4) 卒前教育に関するアンケート調査について

(5) 悪性腫瘍委員会（米倉竹夫担当理事）

米倉担当理事より以下の報告があった。

- 1) 小児の外科的悪性腫瘍、2013年次登録症例の全国集計結果について
- 2) 登録事業の倫理審査の更新について
- 3) 日本小児・思春期・若年成人がん関連学会協議会について
- 4) 登録の電子化について
- 5) 登録データ利活用に係る規定作成について

(6) 学術・先進医療検討委員会（八木 實担当理事）

八木担当理事より以下の報告があった。

- 1) 学術資料に関する収集・調査分析と報告について
 - ①ビデオライブラリー（デジタル化）の作成について
 - ②厚生労働省・日本学術振興会科学研究費申請および採択状況調査について
- 2) 新生児外科全国アンケート調査と報告について
- 3) 会員対象のアンケート調査依頼の審査および認可について
- 4) 他学会研究班からの診断基準・重症度判定・ガイドライン等の審査依頼について

(7) 倫理・安全管理委員会（漆原直人担当理事）

漆原担当理事より以下の報告があった。

- 1) 医療倫理・安全管理講習会について
- 2) 倫理・安全管理委員会便りについて
- 3) 日本医療安全調査機構への協力について

(8) 小児救急検討委員会 (松藤 凡担当理事)

松藤担当理事より以下の報告があった。

- 1) 小児救急セミナーについて
- 2) PALS講習会について
- 3) 関連学会との連携について

(9) データベース委員会 (米倉竹夫担当理事)

米倉担当理事より以下の報告があった。

- 1) 日本小児外科学会が収集した臨床データの取扱いに関する規程および内規制定
- 2) 小児外科領域の医療水準評価項目の運用開始
- 3) NCD小児外科領域の運用

(10) 利益相反委員会 (漆原直人担当理事)

漆原担当理事より以下の報告があった。

- 1) COIに関する指針および鶴運用規則の見直しについて
- 2) 学会誌査読者のCOI確認について
- 3) 自己申告書の検証
- 4) 倫理安全管理・利益相反講習会について

(11) ワークライフバランス検討委員会 (窪田正幸担当理事)

窪田担当理事より以下の報告があった。

- 1) 妊娠・出産・育児・介護等中の専門医更新猶予規定などについて
- 2) 学会ホームページ上での広報について
- 3) ワークライフバランスについての啓蒙活動 (オープンセミナー) について
- 4) 他学会・海外の男女共同参画WGとのネットワークづくりについて
- 5) 男女共同参画としてのクォータ制、ポジティブアクションについて

(12) トランジション検討委員会 (八木 實担当理事)

八木担当理事より以下の報告があった。

- 1) 施設・病態移行期に関する問題点について

【対象疾患】 Hirschsprung病、類縁疾患、鎖肛、仙尾部奇形腫、小児泌尿器疾患、胆道閉鎖症、胆道拡張症、小児がん、リンパ管腫、横隔膜ヘルニア、腸管不全、気道・肺疾患など

【病態】 排泄管理、重症心身障碍児など

【施設】 大学病院、小児病院、成育医療センター；トランジションセンター

【その他】 難病指定、小児慢性疾患事業

- 2) 今後の展望について

5. 理事長報告

仁尾理事長より以下の報告がなされた。

- (1) 定例理事会報告
- (2) 海外名誉会員・特別会員の招待について

- (3) 日本医学会報告
- (4) 日本医学会連合報告
- (5) 外科関連学会協議会報告
- (6) 日本専門医評価・認定機構報告
- (7) 日本専門医機構報告
- (8) 外科関連専門医制度委員会報告
- (9) NCD 報告
- (10) 臓器移植関連学会協議会報告
- (11) 日本小児がん臨床研究グループ JCCG 報告
- (12) 秋季シンポジウム委員会報告
- (13) 総合調整委員会
- (14) 学術集会の在り方に関する作業部会について
- (15) 日本小児科連絡協議会（四者協）について
- (16) 日本小児科学会小児慢性特定疾患委員会について
- (17) 日本小児期外科系関連学会協議会について
- (18) 健やか親子 21 について
- (19) 規約委員会の設置について

6. 専門医制度委員会報告

専門医制度両委員会委員長より以下の報告があり、承認された。

(1) 施設認定委員会

植村貞繁委員長より以下の報告があった。

- 1) 委員会開催状況の報告
- 2) 施設認定状況の報告

(2) 専門医認定委員会

檜山英三委員長より以下の報告があった。

- 1) 委員会開催状況の報告
- 2) 専門医・指導医認定状況の報告
- 3) 専門医筆記試験合格状況報告

7. 2014（平成26）年度収支決算報告

渡井 有財務会計委員長より、平成26年度決算案および50周年記念事業決算案について説明があった。続いて岩中 督監事より、4月24日に行われた監査の結果、決算案が適正であったとの報告があり、決算案が承認された。

8. 2015（平成27）年度収支予算案

渡井 有財務会計委員長より、平成27年度予算案について説明があり、承認された。

9. 次期総会開催時期、及び開催地決定の件

田口智章次期会長より挨拶があった。また、以下につき報告があり、承認された。

第53回日本小児外科学会学術集会

開催時期：2016年5月24日（火）から26日（木）

開催地：ヒルトン福岡シーホーク

10. その他

(1) 仁尾正記次期副会長より挨拶があった。

(2) 仁尾理事長より、新名誉会員の窪田昭男先生、神特別会員の石田和夫先生、西島栄治先生、連利博先生、渡邊芳夫先生に会員証が贈呈され、全員より挨拶があった。

議長より、以上で予定されていた議題の審議がすべて終了した旨の宣言があった。

最後に、前田会長より挨拶があり、続いて閉会宣言が行われた。

(閉会時刻：17時30分)

以上

理 事 長 _____

議 長 _____

議事録署名人 _____

議事録署名人 _____